

1. 動作環境

1)ソフトウェア

GIS インターフェイス

ArcGIS Ver8.3 または Ver9.0sp1 がインストールされていること。

陸域モデル

exe ファイルで実行するため、Windows 上であること。

水域モデル

エクセルに着いている VB で開発。

Excell 2000 以降のバージョンがインストールされていること。

2)PC 環境

OS

Windows2000 以降のバージョンを搭載していること。

その他の条件

計算時間の長さ等を考えなければ、ArcGIS が動作することが必要最小限の条件となります。

(例)ArcGIS8.3

CPU : ペンティアム 3 450MHz 必須、650MHz 推奨

メモリ : 128MB 必須、256MB 推奨

HD 空き容量 : 700MB 推奨

ただし、HD の空き容量については、陸域モデルの計算結果を格納するために、項目をフル出力した場合には、1 年間で約 20 ~ 30GB 必要となります。

2. システムのインストール

- 1) Setup.exe を起動します。
- 2) インストーラの手順にしたがってインストールしてください。



3) Setup によりインストールされる流域モデル(霞ヶ浦水循環 GIS フォルダ内の"sipher")を別フォルダに移動させる場合には、HydroGIS.ini の内容を変更します(通常は必要ありません)。

インストールフォルダ¥Proj¥Bin フォルダにある「HydroGIS.ini」ファイルをテキストエディタで開きます。
ファイルの内容:

```
-----  
[GENERAL]  
Version=1.0  
ValleyModelPath=  
ValleyModelInputName=霞ヶ浦入力ファイル.xls  
LakeModelName=霞ヶ浦湖沼モデル.xls
```

```
[MAKEGRAPH]  
SelectMaxMesh=50
```

"ValleyModelPath"を流域モデル(exe フォルダ)の格納されているパスをフルパスで指定してください。

例) C:¥sipher¥

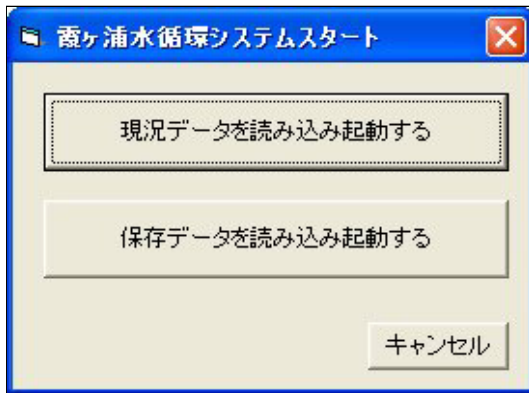
4) システムを起動します。

本操作説明書 2 章以降を参照してください。

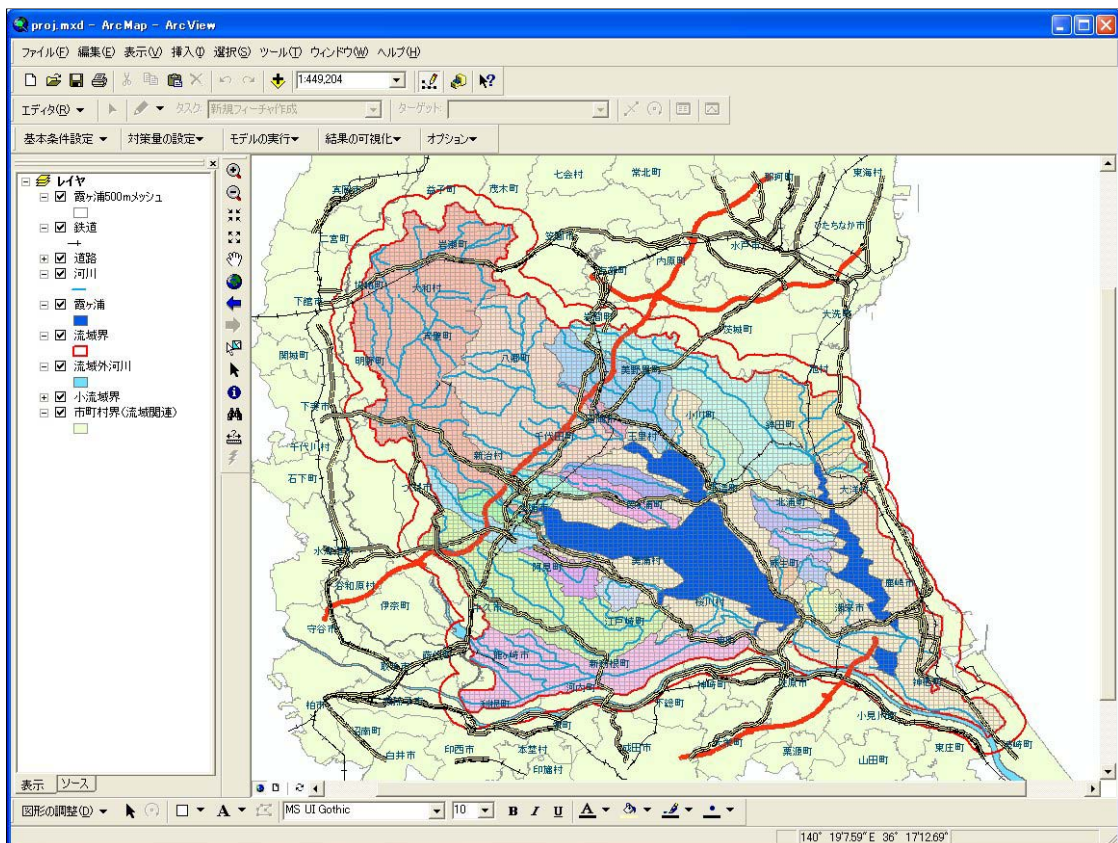
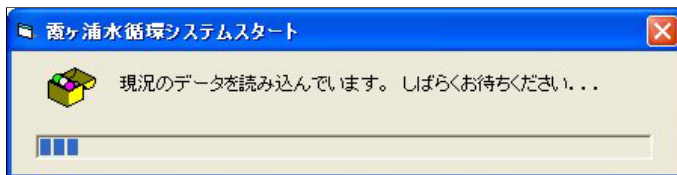
3. システムの起動

3-1. 現況データを読み込みシステムを起動する

- 1) 「スタートメニュー」の「霞ヶ浦水循環 GIS」「システムスタータ」をクリックします。「霞ヶ浦水循環 GIS システムスタータ」メニューが表示されます。

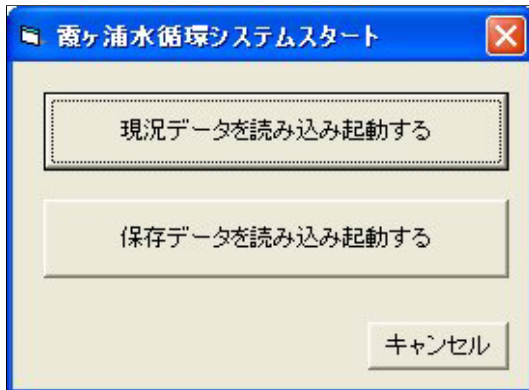


- 2) 「現況データを読み込み起動する」ボタンをクリックすると、「現況データ読み込み中」ダイアログを表示され、読み込み後ArcMapが起動します。

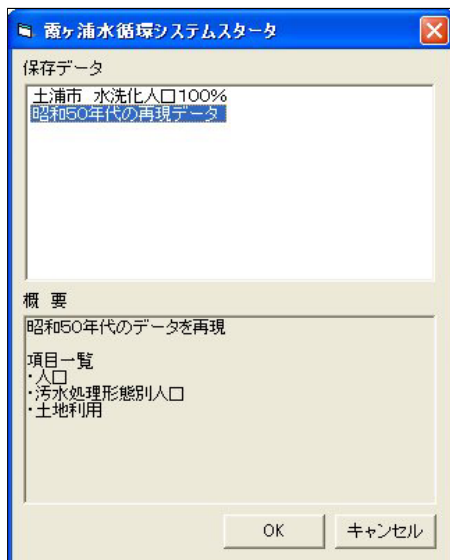


3-2. 保存データを読み込みシステムを起動する

- 1) 「スタートメニュー」の「霞ヶ浦水循環GIS」「システムスタート」をクリックします。「霞ヶ浦水循環GISシステムスタート」メニューが表示されます。



- 2) 「保存データを読み込み起動する」ボタンをクリックすると「保存データ選択メニュー」が表示されます。



「保存データ」一覧からデータを選択すると、保存データの概要が表示されます。
データ保存時に概要を登録していない場合には、表示されません。

3) 保存データを一覧から選択し、「OK」ボタンをクリックすると、「保存データ読み込み中」ダイアログを表示され、読み込み後Arc Mapが起動します。

